

災害に強く、安全・安心な地域づくりの推進

1 取組みの概要

近年、我が国では地震や台風、大規模火災などにより、甚大な被害が各地で発生しています。最近では、集中豪雨が、毎年のように全国各地に大きな被害をもたらしており、それがいつ山形県で起こっても、全く不思議ではない状況です。

このような、いつ発生するかわからない災害から県民の皆さんの生命や財産を守り、安全安心を確保するために、市町村や防災関係機関などと連携しながら、過去の災害を教訓として防災の取組みを進めていく必要があります。

また、災害を完全に防ぐことは不可能ですが、普段からの備えによって、被害を減らすことができます。そのため、県では、津波や火山への対策をはじめ総合的な防災対策を推進するとともに、迅速で確実な情報伝達体制の整備や、自主防災組織・消防団の活性化による地域防災力の充実強化などに取り組んでいます。

2 担当職員へのインタビュー

危機管理課

危機管理・企画担当

主事

大江 裕樹

【採用職種:行政】



Q 現在の担当業務を教えてください

県職員向けの危機管理研修会の開催やアンケートの実施など、職員の危機管理意識を高めるための取組みのほか、テロなどの危機事案に対してスムーズに対応できるよう、国や市町村などと共同で行う訓練の企画や実施にも携わっています。山形県にとって危機となるような事案が生じた場合には、緊急の対策会議を行うことになるため、そのための情報収集や安全確認などの対応に当たっています。

Q 仕事のやりがい・魅力は何ですか？

災害などが発生したとき、刻々と変わる状況に的確に対応していく判断力や行動力が求められます。それを養うために、日々の訓練や意識付けが重要になってきます。災害は起こらないのが一番ですが、起きてしまったときに被害を最小限にとどめ、県民の皆さんの安全・安心を確保するという責務を担っていることは、大きな責任であるとともに大きなやりがいでもあると感じています。

Q 皆さんへのメッセージをお願いします！

私は、東京での社会人経験を経て、山形県に入庁しました。試験勉強は、仕事と子育てをしながらでしたので、決して楽なものではありませんでしたが、「ふるさと山形に貢献したい」、「自然豊かな環境で子育てをしたい」という思いを胸に、何とか乗り切ることができました。同じような境遇の方や、長丁場の試験勉強にくじけそうになっている方もいるかもしれません。そんなときは、将来、県庁でいきいきと活躍する自分を想像して、最後まで諦めずに夢に向かって頑張ってください！必ずいい結果が待っていると信じています。

